



新潟日報

NIIGATA NIPPO

新潟

'24.11.8

生きにくさを感じる子どもが、一步前に踏み出す機会にしてほしい。不登校の経験者を中心に、通信制の第一学院高校新潟キャンパス（新潟市中央区）などに通う生徒ら7人がアートイベント「アート&ライブ」の開催に向けて準備を進めている。テーマは「居場所」。小学生から大学生の世代を対象に、絵や立体作品、ダンスや音楽のステージの出演者を募集している。

## 通信制高の生徒ら企画

# 来春、新潟でアートイベント

## 「自信取り戻す契機に」

作品、ダンス、音楽… 参加者募集

生徒ら7人が主体となる実行委員会は、2025年3月に新潟市内での開催を目指している。月2回程度、市内で会議を開き、イベントの詳細を詰めている。

生徒ら7人が主体となる実行委員会は、2025年3月に新潟市内での開催を目指している。月2回程度、市内で会議を開き、イベントの詳細を詰めている。

作品の展示やステージ出演

の希望者は12月31日までに申し込む。活動を支援するNPO法人が運営する発達支援・放課後等デイサービス施設「そらとぶしつば」のホームページで、募集フォームを掲載している。

問い合わせはNPO法人健康サポートプラスの奈良橋さん、090（7828）8068。

イベントの発案者は、第一学院高2年の龍之介さん（16）だ。中学1年の夏休み明けに学校に行けなくなり、うつ病を発症。卒業まで不登校だった。イベントでは、フリースクールや放課後デイサービスなどに通う子どもからも作品を募集する。龍之介さんは「中学時代、一歩外に出たことで、未来への希望を見いだせた。生きにくさを感じる人に自信を取り戻す機会を提供したい」と意気込む。

イベントを通じて「通信制高校のイメージを変えたい」との思いもある。実行委の同高2年、末桜さん（17）は7月、



イベント「アート&ライブ」の開催に向けて、話し合いをする実行委員会メンバーら＝新潟市中央区